



# サラヤ 環境清拭クロス PREMIUM CLEANING

Surface sanitizing wipes

**汚れ・細菌・ウイルスを除去**  
拭きはじめてから拭きおわりまで質の高い環境清拭を実現

繊維構造が均一で  
表裏差や密度差が  
少ない独自の不織布



80枚入ピロータイプ  
1枚サイズ: 175×200mm

特許第6821162号

## 製品特徴

環境清拭に最適化した独自処方と  
不織布のマッチング技術を採用

1. 拭きはじめてから拭きおわりまで均一に清拭することができます。(特許第6821162号)
2. 油脂汚れやタンパク汚れに対して高い洗浄効果を有しています。
3. 高い除菌効果・ウイルス不活化効果を有しており清拭後は除菌効果が持続します。
4. プラスチックやステンレスに対して腐食性が低く二度拭きも要りません。



250枚入 容器 大判クロス  
1枚サイズ: 150×300mm

特許第6821162号

## 用途

ドアノブ・オーバーテーブル・ベッド柵・  
ME機器など、手が頻繁に触れる部位の  
洗浄・除菌に。



ME機器に



処置台に



ベッド柵、オーバーテーブルに



注射台に

# 実使用を想定した洗浄効果・除菌効果・ウイルス不活化効果を評価

【洗浄効果】 清拭によるタンパク汚れおよび油脂汚れに対する洗浄効果を評価しています。

## ① タンパク汚れに対する洗浄力

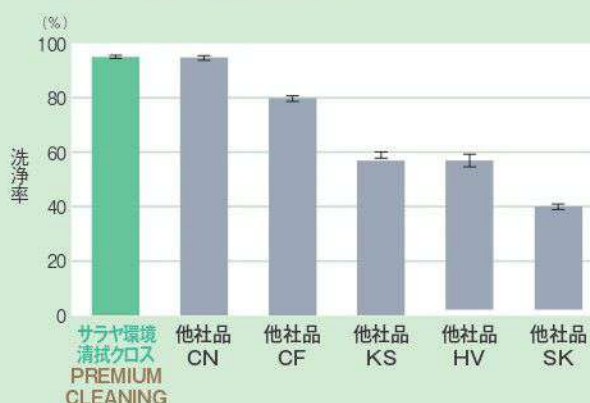
ステンレステストピースにモデルタンパク汚れを付着させ、乾燥させた後にサラヤ環境清拭クロスPREMIUM CLEANINGで清拭しました。



サラヤ環境清拭クロス PREMIUM CLEANINGはタンパク汚れおよび油脂汚れに対して高い洗浄力を有しています。

## ② 油脂汚れに対する洗浄力

ステンレステストピースにモデル油脂汚れを付着させ、乾燥させた後にサラヤ環境清拭クロスPREMIUM CLEANINGで清拭しました。



【除菌効果・ウイルス不活化効果】 絞り液と清拭による除菌効果およびウイルス不活化効果を評価しています。

## ① 絞り液を用いた除菌効果・ウイルス不活化効果

サラヤ環境清拭クロスPREMIUM CLEANINGから絞り液(絞り液)を用いて除菌効果およびウイルス不活化効果を評価しました。

なお、除菌効果およびウイルス不活化効果の評価は、環境消毒薬の評価指針2020を参考にして実施しました。

### 【環境消毒薬の評価指針2020における環境消毒薬の評価基準】

殺細菌効果 …… *Pseudomonas aeruginosa* ATCC 15442 などの細菌を4Log<sub>10</sub>以上減少させる

殺ウイルス効果 … *Feline calicivirus* F9などのウイルスを3Log<sub>10</sub>以上減少させる

※小数点以下は切り捨て

サラヤ環境清拭クロスPREMIUM CLEANINGの絞り液は、各種細菌・真菌・ウイルスに対して、高い除菌効果・ウイルス不活化効果を示しました。

## ② 清拭による除菌効果

欧州規格EN16615:2015で定められたワイブ試験として、汚染部位の除菌効果および周辺部位への菌の移行を評価しました。

### 【指定菌種】

黄色ブドウ球菌 *Staphylococcus aureus* ATCC 6538

エンテロコッカス・ヒラエ *Enterococcus hirae* ATCC 10541

緑膿菌 *Pseudomonas aeruginosa* ATCC 15442

カンジダ アルビカンス *Candida albicans* ATCC 10231

### 【EN16615:2015 要求事項】

- 区画T1の対数減少値が、細菌で5.0Log<sub>10</sub>以上、真菌で4.0Log<sub>10</sub>以上であること
- 区画T2～区画T4の残存菌数の平均が50CFU以下であること

サラヤ環境清拭クロスPREMIUM CLEANINGは、欧州規格EN16615:2015で定められたワイブ試験の要求事項を満たしました。

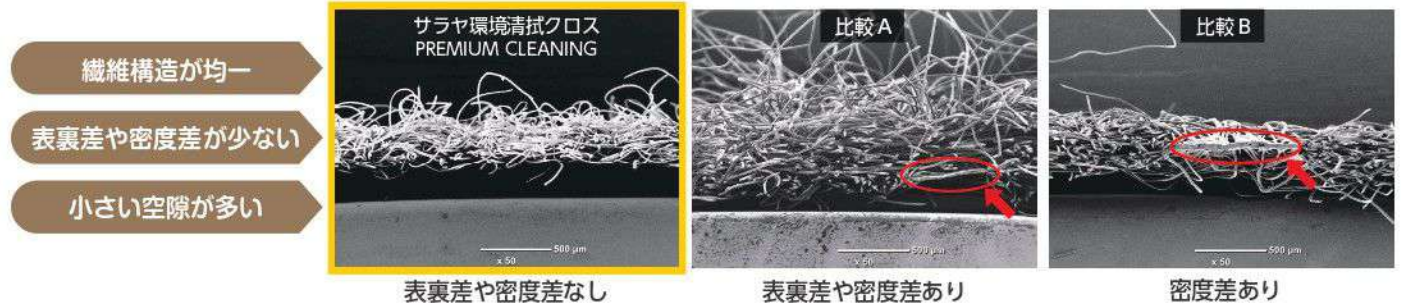
【TOPICS】 EN16615:2015 について

EN16615:2015とは、欧州標準化委員会が定めた欧州規格のワイブ試験であり、実使用を想定した拭き取り試験法です。試験は不潔条件で実施し、汚染部位の除菌効果および周辺部位への菌の移行を評価します。

試験の指定菌種は、細菌として黄色ブドウ球菌、エンテロコッカス・ヒラエ、緑膿菌、真菌としてカンジダアルビカンスを使用します。測定した結果、汚染部位の対数減少値が細菌で5.0Log<sub>10</sub>以上、真菌で4.0Log<sub>10</sub>以上であること、周辺部位の残存菌数の平均が50CFU以下であることが要求事項として定められています。





# 独自処方と不織布のマッチング技術

## 【環境表面の清拭に最適な不織布】



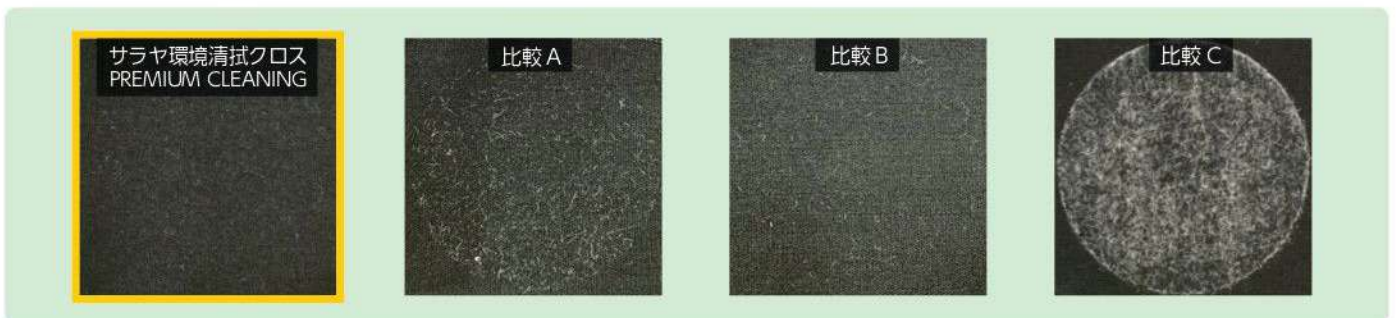
## 【清拭面が適度に均一に濡れる】(特許第6821162号 表3～表8引用)

液を不織布に含浸させて一定荷重をかけたときの濡れ性比較

	サラヤ環境清拭クロス PREMIUM CLEANING	比較 1	比較 2	比較 3
弊社独自処方	○	○	×	×
弊社独自不織布	○	×	○	○
外 観	 均一に濡れている	 全体的に濡れていない	 局地的に濡れている	 過剰に濡れている

## 【清拭後にリント(繊維くず)が目立たない】

清拭後のリントの比較



## 【耐薬品性】

各種材質のプラスチックテストピースを、サラヤ環境清拭クロスPREMIUM CLEANINGの専用液に完全に浸かるように浸漬し、25℃で7日間放置しました。放置前後のテストピースと浸漬液の外観変化を調べました。

材 質	外観変化		材 質	外観変化	
	表面の変化	浸漬液の変化		表面の変化	浸漬液の変化
ポリエチレン	変化なし	変化なし	ABS樹脂	変化なし	変化なし
ポリプロピレン	変化なし	変化なし	アクリル	変化なし	変化なし
ポリカーボネート	変化なし	変化なし	塩化ビニル	変化なし	変化なし
ポリスチレン	変化なし	変化なし	フェノール樹脂	変化なし	変化なし
ポリアミド	変化なし	変化なし	ポリアセタール	変化なし	変化なし